

新副会長紹介

副会長 島崎益男



「今が大切」を実感して

1946年東京都出身。1970年工学部機械学科(野田)卒業、2000年理工研究科工業化学専攻博士課程卒業(工学博士)。1971年(株)島崎製作所(主に攪拌・混合機器製造、販売)入社、研究開発部門就任後、1984年同社社長就任、2012年関連会社(株)島崎エンジニアリングに事業譲渡し現在は譲渡先の顧問。2000年東京理科大学評議員に二期就任、その後維持会常任維持役員、理窓会東京支部副支部長、理窓ビジネス同友会副会長、理窓からくり会代表、そして本年より理窓会副会長に就任いたしました。

理窓会ルネッサンスでの新体制の構築を経て、組織や財政等々がより活性化し、広範な多くの同窓に関心を持っていただけることを大いに期待をしております。

「今が大切」とパルピテーションを感じ、大学と共にホームカミングデー等や多くの方のご尽力で百二十五周年記念事業、発祥の地に記念碑、葛飾キャンパス開設記念碑、坊っちゃんの塔を建立出来ましたことも、同窓生18万人の絆を磐石なものとする求心力の証であります。

伝統のある理窓会において、大任を仰せつかりました。「めざせエベレスト」を標榜する母校の発展、同窓のビー・ツウ・ビー、生涯就業システム、会の組織拡充等、会員の親睦、交流のために会員各位のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。少しでもお役に立てる様に頑張る所存であります。また、時節柄会員の皆様のますますのご活躍とご自愛を祈念申し上げます。 拝

副会長 小林秀至



山田会長の時代に常務委員を2期4年務め、このたび石神会長のもと、副会長に就任させていただきました。何卒よろしくお願いいたします。

私は、昭和54年理工学部電気工学科を卒業し、そのまま東京理科大学の事務局に就職しました。母校の事務局の立場から約35年にわたり理窓会という組織と係ってまいりました。しかしまだ、現役の大学事務職員です。また、今の仕事は、同窓生を支援する部署(校友・父母支援課)の部長です。

他の副会長と異なり、大学側の立場から同窓生の活動、活躍を支援する立場の顔も持っています。私しかできない理窓会への働きをいつも念頭に置き精進します。

同窓会の位置づけは会則にもあるように、会員相互の親睦、社会貢献と大学発展に対する協力です。

「会員相互の親睦」は、会員相互の連絡が簡単に、かつ親密に取れることが優先されることだと思います。大学から提供されたグループウェア・メールシステムの積極的な展開の実現を具現化することが課題です。

また、在学時代の研究室やサークルの情報、勤務先や住所の会員個人情報収集、その取扱いも大きな課題だと認識しております。その情報をもとに、研究室やサークル、さらに各企業内の同窓会への支援ができればと考えております。

いろいろと課題は山積していると思いますが、皆様のご指導を賜りながら理窓会と母校のさらなる発展のため微力ながら努めてまいりたいと思います。よろしくご指導、ご鞭撻の程、お願いします。

副会長 渡邊 一郎



理窓会と東京理科大学との
力強い連携をめざして

この度、理窓会副会長に
就任しました渡邊 一郎で
す。昭和41年工学部電気工

学科卒業、民間会社(株東芝)で電気通信システムの
開発・設計部門に従事し、光ファイバ伝送、衛星通信
システムの開発を担当し、いわゆる日本の新しい通信
環境創りの幕開け(先駆け)を経験させてもらいまし
た。特に光ファイバ通信では建設省(現国土交通省)
の通信インフラ構築に邁進して参りました。これらの
通信技術は、現在ではさらに新しくなり、衛星通信と
共に全世界的な大容量の通信インフラ(IPネット)に
発展して今日のワールドワイドな通信ネットワーク
(Webネットワーク)が構築されています。その過程で
私は、技術士(電気電子部門)を取得し、業務遂行に

寄与して参りました。

理窓会では、現役(東芝)時代から、塚本元理窓
会会長のご指導を受けながら平成15年度に理窓
技術士会を立ち上げ、理窓会関連組織の一員に加
えていただき、組織維持に努めて参りました。そ
の後、理窓会山田前会長の下で現在の理窓会通信
ネットワーク(Webネット)構築に参画し、その
形が出来上がりました。

個人的には、平成15年度に株式会社ITサポー
トシステムズを設立し、地域(八王子市)の法人仲
間たちと連携・協力しながら地域のWeb通信ネッ
トワークの構築・運営をサポートしています。

これからは、同じ工学部出身の石神 一郎会長
の下で、このWebネットワークのさらなる発展・維
持に努めると共に東京理科大学中根理事長が掲げ
た『めざせ エベレスト』登頂メンバーの一員に
加えていただき、力強い連携を保ちながら、共に
汗をかいて登頂をめざして参りたいと思います。
どうかよろしくご指導の程お願い申し上げます。

株式会社エンプラス

技術・精度・機能で世界に挑む

enplas

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
Tel:048-253-3131 Fax:048-255-1688
<http://www.enplas.com/>
国内拠点:埼玉、栃木、大阪、名古屋、九州
海外拠点:アメリカ、シンガポール、マレーシア、タイ、
ベトナム、中国(上海・広州)、台湾、香港
設立:1962年2月 資本金:80億8,045万円
株式:東京証券取引所 市場第一部 上場
事業内容:光学、液晶、半導体機器、自動車関連、OA機器
関連各種精密製品の開発・製造・販売



Engineering Plastics
創業以来の卓越した技術力と豊富
なデータをもとにベストソリューショ
ンをおくり続けるエンプラスギヤ



Plastic Optics
独自技術を駆使し、ナノメーター
レベルのオーターに対応する、
光通信市場向けレンズ



LED
独創的な光束制御により薄型化、
均一輝度、低消費電力を同時に実
現したLED光源用拡散レンズ



Semiconductor
ICの高電力・高速化ニーズに対
応した超微細ピッチICテスト用ソ
ケット

新監査委員紹介

監査委員 長峰博明



この4月から理窓会監査を担当することになりました。

推奨いただいた方々のご期待に添えるように同窓会活動を行っていく所存です。

理窓会監査の役割は、単に会計処理の適正さを監査するだけではなく、理窓会業務の運営に関する事柄が理窓会会員に信託された内容と合致したものであるかということを確認することが重要であります。前者は税理士である藤井監査委員にお任せすることにして、私は後者の内容についてその役割を担うことを考えています。

理窓会活動の監査責任は、海外を含めて全国の同胞18万人に対するサービスが十分なされているかということが重要であると思っています。住所が確認され、一応組織化されている同胞は約60%（約11万人）、年会費を納めている同胞は残念ながら約10%強（約2万人）にすぎません。この中には平成18年度以降からは「卒業時に15年会費を納めている方」も含まれています。

理窓会の年度会計をみますと、年によって差はありますが約1.2億円前後の収支です。収入の大部分は個人の会費です。卒業時に15年会費を納めた人が15年を過ぎた段階でどうなるか分かりませんので、今後は収入が確実に減少していくこととなります。そのためには、これからは効率よく事業を推進することが重要であると考えています。

理窓会会計における、年間億円単位のお金を動かすことは半端ではありません。このことを十分認識して、役割を担っていくことをお約束して紹介欄ページを閉じたいと思います。

今後ともよろしく願いいたします。(42理・応数)

監査委員 藤井 浩



理窓会と東京理科大学の力強い連携

この度、監査委員に就任しました藤井浩です。昭和44年工学部機械工学科卒業、民間会社でディーゼルエンジンの設計課に就職。義兄の会社の急な依頼で、畑違いの営業、経理に取組んだことから、後には税理士資格を取得。理系に無い勉強が欠かせず中小企業診断士と社会保険労務士を取得。会計事務所開業後は、企業人会（現在のビジネス同友会）の監査や、理窓会倶楽部の税務申告等をさせて頂きました。

理窓会では十年程前に、「組織・財務改革検討委員会」の山田義幸委員長が準備された資料に基づき五ヶ年の中期経営計画が作成され、次第に財政基盤も整いました。毎回の会合における山田委員長の情報収集・分析力・実行力を知る委員の一人として、今も変わらぬ旺盛な気力に驚かされます。

東京理科大学の中根理事長が掲げた『めざせエベレスト』の標語は、藤嶋学長の情熱と共鳴しあって最高峰登頂の決意を示すものとなりました。理窓会の石神新会長も6月の総会で、力強い「所信表明」をされました。理窓会と東京理科大学の力強い連携が、登頂成功の「鍵」となるでしょう。

昨年まで私は、東京税理士会の理事（経理部に二期4年）をつとめ、現在は東京税理士会神田支部の監事です。今後、理窓会の監査委員として、石神会長の目指す理想の実現に向けて、少しでも貢献出来るよう尽力致したく、どうぞ宜しくお願い申し上げます。